# 俱楽部 Orchid GW

[クラブオーキッド GW]

変額個人年金保険(災害死亡 50%型)

# 特別勘定運用レポート

# (組入投資信託の運用状況)

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
日本株インデックス225	インデックスファンド225		1
ファンド		   アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社	' '
新興国債券インデックス	新興国債券インデックスファンド	プレージア・アセットマネンスント株式芸社	2
ファンド	利央国員分イングック人ファント		
GWバランス2	グローバル・ラップ・バランス安定成長型		3
GWバランス3	グローバル・ラップ・バランス成長型		4
GWバランス4	グローバル・ラップ・バランス積極成長型	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社     ※運用助言:	5
GWバランス5	グローバル・ラップ・バランス積極型	SMBCグローバル・インベストメント&	6
GWバランス6	グローバル・ラップ・バランス超積極型	- コンサルティング株式会社 	7
SMBCグローバル・インへ	ベストメント&コンサルティング株式会社のコメント		8
マネー	SMAM・FGマネーファンドVA	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	9
海外リートインデックス	海外先進国REITインデックスファンド	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社	10
ファンド	海水ル连国CLI インチックスファフト	プローファ・プロットマネンスノト休式去社	10

募集代理店



引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命 MS&AD INSURANCE GROUP

# 特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって

# 当資料をご覧いただく際にご留意いただきたい事項

- ・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命の倶楽部 Orchid GW〔変額個人年金保険(災害死亡 50%型)〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「ご契約のしおり・約款」、および「特別勘定のしおり」等をご覧ください。
- ・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、[組入投資信託の運用状況] に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。
- ・[組入投資信託の運用状況] は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

# この保険商品についてご確認いただきたい事項

# ■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その 運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動(増減)するしく みの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じ て運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる 合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別 勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

#### ■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部 解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

#### ■その他

- ・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。
- ・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。 これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

# 諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

# 積立期間中にご負担いただく費用

### 1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項目	目的	費用	時 期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要 な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保 険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 2.35%	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用 関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運 用にかかわる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記 をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

特別勘定の名称	資産運用関係費(年率)
GW バランス 2	1.232%程度(消費税込)
GW バランス 3	1.364%程度(消費税込)
GW バランス 4	1.518%程度(消費税込)
GW バランス 5	1.694%程度(消費税込)
GW バランス 6	1.793%程度 (消費稅込)

特別勘定の名称	資産運用関係費(年率)
日本株インデックス225ファンド	0.572%程度(消費税込)
新興国債券インデックスファンド	0.66%程度(消費税込)
海外リートインデックスファンド	0.66%程度(消費税込)
マネー	0.00%~ 0.198%程度 (消費稅込)*

\* 前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。



- ・資産運用関係費は信託報酬を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
- ・資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

# 2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項目	費	用	時 期	
積立金 移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料	1 保険年度 16 回目以後の 移転について 2,500円/回	移転時に積立金から控除します。	
貸付利息	契約者貸付を受けるとき	貸付金額に対して年率 2.35%	年ごとの契約応当日に積立金から控除します。	
解約控除	解約するとき	経過年数に応じて、 払込保険料総額に対して 1~8%	 	
小小工工厂小十六	一部解約するとき	経過年数に応じて、 -部解約請求金額に対して 1 ~ 8%	は、	

- ※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。
- ※ 契約日(増額日)から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日(増額日)からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

#### <解約控除率>

契約日(増額日) からの経過年数	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満	8年以上 9年未満	9年以上 10年未満	10年以上
解約控除対象額に 対する解約控除率	8%	8%	<b>7</b> %	<b>7</b> %	6%	<b>5</b> %	<b>4</b> %	3%	2%	1%	0%

## 年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後ご負担いただきます。(遺族年金支払特約による年金も含みます。)

項目	費用	時期
年金管理費	年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

# インデックスファンド225

タは2025年9月30日現在

## マンスリーレポート

# デックスファンド225

追加型投信/国内/株式/インデックス型

#### ファンドの概要

1988年6月17日 設 定 日

還 日 無期限

決 算 日 原則6月16日

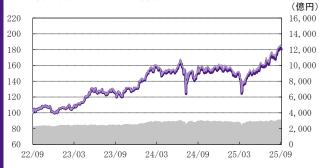
収益分配 決算日毎 ファンドの特色

- 1. 日本株式市場全体の動きをとらえ、日経平均トータルリターン・インデックスの動きに 連動する投資成果をめざします
- 「バーラ日本株式モデル」に従って、わが国の金融商品取引所に上場されている株式※の 中から、原則として200銘柄以上に投資します。
- ※東京証券取引所プライム市場に上場されている株式となります。

#### 運 用 実 績

#### <基準価額の推移>

純資産総額(右目盛) ・ベンチマーク(左目盛)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。 ※基準価額は当ファンドに過去3年間、分配金実績があった場合に

- 金子山田(6月1年) 当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
- ※基準価額およびベンチマーク(日経平均トータルリターン・インデック ス)は、2022年9月末を100として指数化しています。
- ※日経平均トータルリターン・インデックスに関する著作権等の知的財産 権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

H 來

28.

14. 29

10.9%

5.6%

5.0% 「資産構成比率」「株式組入上位10銘柄」の比率は純資産総額を、「株式 組入上位5業種」の比率は組入株式の評価額の合計を、それぞれ100%

※「株式組入上位5業種」「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況です。

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※このレポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を

※このレホートのグラン、数値する過去のものとあり、対不の定力のネタを 約束するものではありません。 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、

基準価額 : 12,657円 純資産総額: 3,128,48億円

それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

# <基準価額の騰落率>

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年		
当ファンド	5.84%	11.63%	26. 93%	20.11%	80. 43%		
ベンチマーク	5.88%	11. 79%	27. 29%	20.82%	83. 67%		

- ※基準価額の騰落率は当ファンドに過去3年間、分配金実績が 金十四版が「海(本中はヨカン) - (一位はカナドドウル のような あった場合に、当該分配金 (税引前) を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
- ※ベンチマークは、日経平均トータルリターン・インデックス

#### <分配金実績(税引前)>

第33期	第34期	第35期	第36期	第37期
2021/6/16	2022/6/16	2023/6/16	2024/6/17	2025/6/16
90円	90円	120円	130円	0円

#### く資産構成比率>

株式		99.7%
	うち先物	1.7%
現金そ	の他	2.0%

#### <株式組入上位10銘柄>(銘柄数: 225銘柄)

	銘 柄	業種	比率
1	アドバンテスト	電気機器	8.70%
2	ソフトバンクグループ	情報・通信業	8. 32%
3	ファーストリテイリング	小売業	8.02%
4	東京エレクトロン	電気機器	5.87%
5	TDK	電気機器	2.39%
6	KDDI	情報・通信業	2.10%
7	信越化学工業	化学	1.80%
8	リクルートホールディングス	サービス業	1.77%
9	コナミグループ	情報・通信業	1.58%
10	ファナック	電気機器	1.58%

業種は果誰33乗権刃類によるセントす。 ※「資産構成比率」はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率です。 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。 ※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

## 日経平均株価の概況

業種は東証33業種分類によるものです。

<株式組入上位5業種> 業種

電気機器

小売業 4 化学

として計算したものです

5 医薬品

3

情報・通信業

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

9月の国内株式市場は、東証株価指数(TOPIX)が前月末比プラス2.03%、日経平均株価が同プラス5.18%となりまし 。米国大統領による自動車関税率を引き下げる大統領令への署名の報道を受けて株式市場に安心感が広がったことや、首相 の退陣表明で次期政権による財政出動への期待感が高まったこと、米国連邦準備制度理事会(FRB)が利下げを再開し米国 の株式市場が上昇したこと、米国における生成AI(人工知能)の設備投資計画などの発表を受けて、一部の半導体関連株が 堅調な動きとなったことなどから、国内株式市場は上昇しました。

東証33業種分類では、非鉄金属、鉱業、電気機器などの21業種が上昇する一方、海運業、空運業、保険業などの12業種が下 落しました

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は 変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した資料です。 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

X

アモーヴァ・アセットマネジメント

SMBC日興証券

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポー トをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

三井住友海上プライマリー生命

### 特別勘定の名称:新興国債券インデックスファンド

# 新興国債券インデックスファンド

データは2025年9月30日現在

# マンスリーレポート

# 新興国債券インデックスファンド(適格機関投資家向け)

#### ファンドの概要

2006年5月17日 設 定 日

澴  $\Box$ 無期限

決 算 日 原則5月16日、11月16日

収益分配 決算日毎

#### ファンドの特色

JPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス (ヘッジなし・円ベース) に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。

#### 用 実 績

#### <基準価額の推移>



- ※基準価額は当ファンドに、分配金実績があった場合に、当該分配金 (税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点に
- ※ベンデマークはJPモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし・円ベース)です。 ※基準価額およびベンチマークは設定日の前営業日を10,000として指数
- 化しています。

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています ※当レポートのグラフ、数値などは過去のものであり、将来の運用成果などを 約束するものではありません。

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、 それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

> 基準価額 28 704円 . 2.70億円 : 純資産総額

#### <基準価額の騰落率>

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	2. 38%	6. 19%	7. 12%	11.06%	33. 28%	193.07%
ベンチマーク	2. 44%	6. 76%	7. 27%	13. 18%	46. 19%	229. 12%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を 再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

#### <分配金実績(税引前)>

23 • 5 • 16	23 • 11 • 16	24.5.16	24 • 11 • 18	25 • 5 • 16
10円	10円	10円	0円	0円

#### <資産構成比率>

債券		97. 8%
	うち先物	0.0%
現金その	他	2. 2%

#### <債券国別上位5ヵ国>

	国 名	比 率
1	サウジアラビア	10. 2%
2	トルコ	9.9%
3	メキシコ	8. 4%
4	アルゼンチン	6. 7%
5	ポーランド	6. 3%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

<債券組入上位10銘柄> (銘柄数 105 銘柄)

L		銘 柄	種別	利率	通貨	比 率
	1	REPUBLIC OF ARGENTINA	国債	4. 125%	アメリカドル	2. 4%
	2	REPUBLIC OF TURKEY	国債	8.6%	アメリカドル	2. 2%
	3	REPUBLIC OF ECUADOR	国債	5. 5%	アメリカドル	2. 1%
	4	FED REPUBLIC OF BRAZIL	国債	5. 5%	アメリカドル	1.8%
	5	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債	5. 75%	アメリカドル	1. 7%
	6	REPUBLIC OF TURKEY	国債	9. 875%	アメリカドル	1. 7%
	7	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債	5. 5%	アメリカドル	1. 7%
	8	ABU DHABI GOVT INT'L	国債	5. 5%	アメリカドル	1.6%
	9	UNITED MEXICAN STATES	国債	6%	アメリカドル	1.6%
	10	UNITED MEXICAN STATES	国債	2. 659%	アメリカドル	1.6%

※比率はマザーファンドの練資産総額比です。

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。 ※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

#### 市 況 概

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

#### ◎市場環境

9月の新興国債券指数は上昇しました。米国連邦準備制度理事会(FRB)が雇用の下振れリスクの増大 を踏まえ追加利下げに踏み切ったことや、米国の長期金利が低下し相対的に高金利の新興国債券の投資魅力 が高まったこと、金、銀などの商品価格が上昇し、産出国の新興国債券の支援材料となったことなどを受け て、新興国債券指数は上昇しました。

■当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に債券など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の債券の価格変動は、先進国の債券の値動きに比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。



アモーヴァ・アセットマネジメント



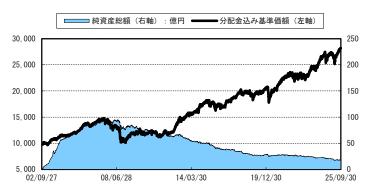
この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポー トをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

# 特別勘定の名称: GWバランス2 グローバル・ラップ・バランス安定成長型

# グローバル・ラップ・バランス 安定成長型

#### 基準日 2025年9月30日

#### ◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

#### ◆基準価額と純資産総額

基準価額	27, 411円
純資産総額	17. 69億円

#### ◆月間の収益分解

GWバランス 安定成長型	1.21%
日本大型株式	0.43%
日本小型株式	0.23%
日本債券	0.01%
北米株式	0.24%
欧州先進国株式	0.12%
アジア太平洋株式	0.03%
海外債券	0.15%

<sup>※「</sup>月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへ の配分を考慮し、簡便計算したものです。

#### ◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	3. 36 %	6.65 %	6.33 %	7.95 %	6.76 %	5. 14 %	4.59 %
ベンチマーク収益率		_	_	-	_		_
差異	_	_	_	_	_	_	_
差 異 ファンドリスク (分配金再投資)			4. 69 %	5. 46 %	5. 90 %	6. 38 %	7. 03 %

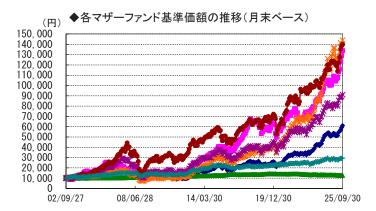
- ※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満(3カ月間、6カ月間)は、年率換算していません。
  ※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。
- ※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

#### ◆資産構成 (マザーファンドの組入構成)

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	12.00 %	14. 62 %
日本小型株式	6.00 %	6.55 %
日本債券	50.00 %	48. 79 %
北米株式	13.00 %	10.62 %
欧州先進国株式	7.00 %	7. 57 %
アジア太平洋株式	3.00 %	2. 58 %
海外債券	9.00 %	8.44 %
短期資産その他	0.00 %	0.83 %

#### 運用:アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」が 資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。



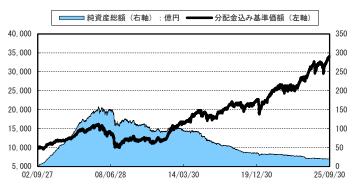
※設定日(2002年9月27日)を10,000円として指数化しています。



# グローバル・ラップ・バランス成長型

# グローバル・ラップ・バランス 成長型

#### ◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

#### 基準日 2025年9月30日

#### ◆基準価額と純資産総額

基準価額	33, 161円
純資産総額	19.94億円

## ◆月間の収益分解

GWバランス 成長型	1.48%
日本大型株式	0.56%
日本小型株式	0.27%
日本債券	0.01%
北米株式	0.29%
欧州先進国株式	0.15%
アジア太平洋株式	0.03%
海外債券	0.17%

<sup>※「</sup>月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへ の配分を考慮し、簡便計算したものです。

#### ◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	4. 33 %	8.58 %	8.93 %	10.63 %	8.97 %	6. 45 %	5.45 %
ベンチマーク収益率	-	_	_	-	_		-
差異	-	_	_	-	_	_	_
差 異 ファンドリスク (分配金再投資)				6.46 %		7. 91 %	8. 74 %

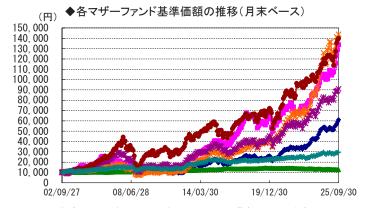
- ※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満(3カ月間、6カ月間)は、年率換算していません。
  ※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。
- ※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

#### ◆資産構成 (マザーファンドの組入構成)

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	15.00 %	18. 85 %
日本小型株式	7.00 %	8. 07 %
日本債券	39.00 %	37. 26 %
北米株式	16.00 %	12. 81 %
欧州先進国株式	9.00 %	9.55 %
アジア太平洋株式	4.00 %	3. 49 %
海外債券	10.00 %	9. 23 %
短期資産その他	0.00 %	0. 74 %

#### 運用:アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」が 資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。



※設定日(2002年9月27日)を10,000円として指数化しています。

- 日本大型株 ── 日本小型株 ── 日本信券 アジ太洋株 --- 海外債券 - 欧州株

# グローバル・ラップ・バランス積極成長型

# グローバル・ラップ・バランス 積極成長型

#### 基準日 2025年9月30日

#### ◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

#### ◆基準価額と純資産総額

基準価額	46, 347円
純資産総額	168.66億円

#### ◆月間の収益分解

GWバランス 積極成長型	1.94%
日本大型株式	0.76%
日本小型株式	0.32%
日本債券	0.01%
北米株式	0.39%
欧州先進国株式	0.22%
アジア太平洋株式	0.04%
海外債券	0.20%

<sup>※「</sup>月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへ の配分を考慮し、簡便計算したものです。

#### ◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	5. 98 %	11.87 %	13. 30 %	15.34 %	13.08 %	8. 85 %	7.03 %
ベンチマーク収益率	_	_	_	-	_	-	
差異	_	_	_	_	_	_	_
ファンドリスク(分配金再投資)			7. 54 %	8.31 %	9. 23 %	10. 65 %	11.77 %

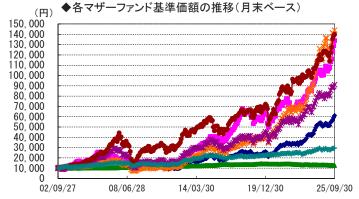
- ※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満(3カ月間、6カ月間)は、年率換算していません。
  ※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。
- ※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

#### ◆資産構成 (マザーファンドの組入構成)

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	21.00 %	25. 21 %
日本小型株式	8.00 %	8. 82 %
日本債券	20.00 %	18. 98 %
北米株式	21.00 %	16. 76 %
欧州先進国株式	13.00 %	13. 81 %
アジア太平洋株式	5.00 %	4. 29 %
海外債券	12.00 %	11. 12 %
短期資産その他	0.00 %	1.01 %

#### 運用:アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」が 資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。



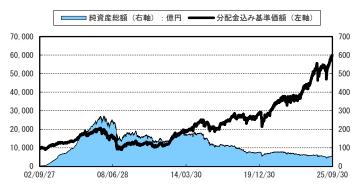
※設定日(2002年9月27日)を10,000円として指数化しています。

- 日本大型株 ── 日本小型株 ── 日本信券 <del>\_\_\_\_</del> 北.米株 - アジ太洋株 -- 欧州株 - 海外債券

# グローバル・ラップ・バランス積極型

# グローバル・ラップ・バランス 積極型

#### ◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

#### 基準日 2025年9月30日

#### ◆基準価額と純資産総額

基準価額	57, 775円
純資産総額	53.91億円

## ◆月間の収益分解

GWバランス 積極型	2.31%
日本大型株式	0.95%
日本小型株式	0.36%
日本債券	0.00%
北米株式	0.46%
欧州先進国株式	0.27%
アジア太平洋株式	0.06%
海外債券	0.21%

<sup>※「</sup>月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへ の配分を考慮し、簡便計算したものです。

#### ◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	7. 45 %	14.86 %	17. 11 %	19.29 %	16.44 %	10. 70 %	8.05 %
ベンチマーク収益率	_	_	_			-	ı
* =							
差異	l	_	_	-	_	_	_
麦 異 ファンドリスク (分配金再投資)			9. 06 %	9.86 %	11. 03 %	12. 91 %	14.31 %

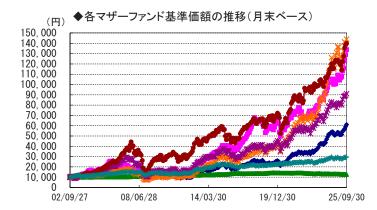
- ※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満(3カ月間、6カ月間)は、年率換算していません。
  ※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。
- ※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

#### ◆資産構成 (マザーファンドの組入構成)

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	26.00 %	31.41 %
日本小型株式	9.00 %	10.09 %
日本債券	4.00 %	3. 26 %
北米株式	25. 00 %	19. 70 %
欧州先進国株式	16.00 %	16.86 %
アジア太平洋株式	7.00 %	6.05 %
海外債券	13.00 %	11.67 %
短期資産その他	0.00 %	0.96 %

#### 運用:アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」が 資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。



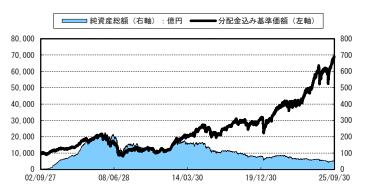
※設定日(2002年9月27日)を10,000円として指数化しています。



# グローバル・ラップ・バランス超積極型

# グローバル・ラップ・バランス 超積極型

# ◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

#### 基準日 2025年9月30日

#### ◆基準価額と純資産総額

基準価額	66, 530円
純資産総額	51.51億円

## ◆月間の収益分解

GWバランス 超積極型	2.40%
日本大型株式	1.14%
日本小型株式	0.33%
日本債券	0.00%
北米株式	0.46%
欧州先進国株式	0.40%
アジア太平洋株式	0.07%
海外債券	0.00%

<sup>※「</sup>月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへ の配分を考慮し、簡便計算したものです。

#### ◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	7. 98 %	16.40 %	18. 56 %	21.34 %	17.89 %	11. 61 %	8. 72 %
ベンチマーク収益率	-	_	_	-	_	-	_
差 異	1	_	_	l		-	-
差 異 ファンドリスク (分配金再投資)			9. 62 %	— 10. 55 %	— 11. 94 %	 14. 35  %	— 16. 18 %

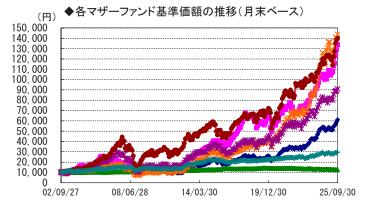
- ※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満(3カ月間、6カ月間)は、年率換算していません。
  ※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。
- ※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

#### ◆資産構成 (マザーファンドの組入構成)

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	30.00 %	37. 34 %
日本小型株式	8.00 %	9. 33 %
日本債券	0.00 %	0.00 %
北米株式	29.00 %	19. 91 %
欧州先進国株式	24. 00 %	25. 21 %
アジア太平洋株式	9.00 %	7. 28 %
海外債券	0.00 %	0.00 %
短期資産その他	0.00 %	0.94 %

#### 運用:アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」が 資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。



※設定日(2002年9月27日)を10,000円として指数化しています。



# SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社 のコメント

俱楽部 Orchid GW

2025年10月14日

SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社

# 世界の市況・経済動向

#### ■ 市況概況(9月)

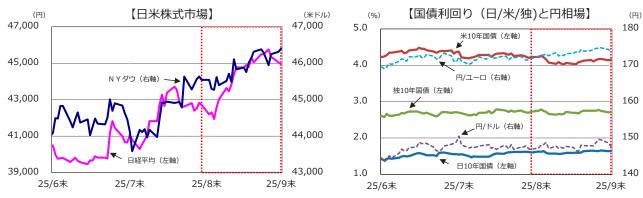
資産	コメント
日本株式	日経平均は、米利下げや世界的なテクノロジー株の上昇、石破首相の辞意表明を受けて発足する新政権の政策への期待感などを背景に、月を 通じて堅調に推移。月間で+5.18%。TOPIXは+2.03%。
外国株式	米国市場では、半導体株の好決算を受けたAI関連需要拡大への期待や、米利下げ決定を背景に、月を通じて堅調に推移。欧州市場は、企業業績や景気の悪化懸念が残る一方で、米利下げや世界的なテクノロジー株の上昇を受け、月を通じて底堅く推移。月間でNYダウ+1.87%、ナスダック+5.61%、独DAX-0.09%、英FT+1.78%。
日本債券	10年国債利回りは上昇。月の上旬は米国債利回り低下や堅調な10年国債入札を背景に利回りは低下するも、石破首相の辞意表明を受け財政 拡大懸念が広まると利回りは上昇。その後、日銀金融政策決定会合のタカ派的な内容を受け一段高となり、月末は1.645%。
外国債券	米10年国債利回りは低下。月初は軟調な米雇用統計や米早期利下げ期待から利回りは低下し、その後は米連邦公開市場委員会(FOMC)を控えてもみ合い、FOMCでは政策金利引き下げが決定するも、大幅な金融緩和には慎重な姿勢が示されたことで利回りは低下幅を縮め、月末は4.150%。独10年国債利回りは低下。月の上旬は米国債利回りの低下が波及、月の中旬にかけてフランスの政治不安や格下げなどが懸念されるも、欧州中央銀行(ECB)理事会で今後の金利動向への示唆がなされず方向感に欠く展開が続き、月末は2.711%。
為替	円/ドル相場は、日銀の追加利上げ期待の後退などが円売り・ドル買い要因となった一方で、米利下げ観測の高まりや米政府機関の閉鎖懸念などが円買い・ドル売り材料となり、比較的狭い範囲で上下する展開。月末は1ドル=147円台。 円/ユーロ相場は、日銀による追加利上げの可能性が低下したことに加え、ECBによる利下げ休止で政策金利が当面据え置きとなる可能性が意識されたため、月を通して円売り・ユーロ買いが進行。月末は1ユーロ=173円台。

#### ■ 当面の見通し

世界経済は、米利下げ再開や欧州利下げ累積効果、対米通商協議決着などを背景に日米欧では年内減速も来年以降回復に向かうとみられる一方、中国では消費や投資の低迷から当面減速継続が予想される。米国では、4-6月期GDPが上方修正され、株高を通じた資産効果も後押しして個人消費は堅調だが、労働市場の減速や関税引き上げの影響顕在化で年後半は成長が鈍化し、来年以降は減税効果等から持ち直す見込みである。欧州では、輸出低迷で当面低成長も、雇用や物価は安定しており、底堅い個人消費や財政支出拡大、利下げ累積効果が下支えとなり、来年には回復するとみられる。日本では、4-6月期GDPが上方修正され、実質賃金が伸び悩むなかでも個人消費は底堅く、米関税政策の影響で輸出や製造業企業業績は悪化するものの、来年には海外景気回復や経済対策等により復調が見込まれる。新興国では中国において、景気先行き懸念や不動産市況の調整継続などを背景に、個人消費の低迷や固定資産投資の減速で景気停滞が鮮明となり、米国の対中関税引き上げ猶予期間後の輸出反動減や国内需要不足などから、当面景気減速の可能性が高まっている。

金融政策に関しては、米当局は雇用下振れリスクの高まりを受けて昨年12月以来となる利下げを実施し、景気後退懸念は低く関税引き上げによるインフレリスクは残るものの、雇用情勢に関するリスク管理の観点から年内2回の追加利下げが示唆されている。欧州では、景気下振れリスクの低下とインフレ率の安定を背景に、利下げサイクルを一旦休止し、想定以上の景気減速や物価変動に備えて当面は政策金利を据え置く見込みである。日銀は、9月会合で政策金利を据え置くとともに保有ETF等の処分方針を決定し、利上げに伴う当座預金への支払利息増による収支悪化を売却益で補うとみられ、今後は物価や賃金動向を踏まえ着実に利上げを実施すると予想される。金融市場では、米当局はリスク管理目的で年内追加利下げ示唆、欧州当局は当面様子見、日銀は利上げに向けた準備を進めるなど、各当局が先を見据えた政策姿勢をとっている。

世界株式市場では、米国株はAI関連大型投資や減税、米利下げ期待から、日本株は自社株買いや経済対策期待から、割高感があるなかでも底堅い推移が見込まれる一方、欧州株は企業業績下方修正や財政・地政学リスクが株価の上値を抑えるとみられる。世界債券市場については、海外長期金利は米利下げ継続観測があるものの底堅い景気や米欧財政懸念から低下余地は限定的で、国内長期金利は景気回復と日銀利上げ観測から緩やかに上昇するだろう。為替市場に関しては、日米金融政策が円高要因となる一方で、日本の財政懸念や対外投資による円売り等から対ドルではもみ合いが予想され、ECB利下げ休止などから対ユーロでは引き続き円安基調での推移が予想される。



・信頼できると判断したデータをもとにSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社が作成。・各グラフは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社(以下、「当社」)が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できる と思われる情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された見解や予測は、資料作成時点でのものであり、事前の通知なしに変更することがあります 投資に関する最終的なご判断は、お客様ご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、当資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来を約束するものではありません。当社は、投資 助言業務を行う場合には、顧客を相手方として、または顧客のために証券取引行為を行うことはいたしません(ただし、投資一任業務を行う場合はこの限りではありません)。いかなる名目によるかを問わず、顧 客に提供した投資助言業務に関して、顧客から金銭もしくは有価証券の預託を受けること、または当社と密接な関係にある者に顧客の金銭もしくは有価証券の預託を受けさせることもいたしません。 特別勘定の名称:マネー

# SMAM・FGマネーファンドVA

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



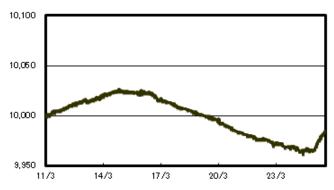
# 【SMAM·FGマネーファンドVA】

主として、マネーインカム・マザーファンドへの投資を通じて、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

|※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

#### 作成基準日:2025年9月30日

#### ● 設定来の運用実績



- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- 基準価額は、2011年3月3日を10,000とした指数として表示しております。
- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

#### ●資産構成

<b></b>	65.2%
先物等	0.0%
短期金融商品•現金等	34.8%
合計	100.0%

### ●ポートフォリオ概況

クーポン(%)	0.03
残存年数(年)	0.39
修正デュレーション(年)	0.39
最終利回り(%)	0.41

## ●格付構成

一				
AAA格	65.2%			
AA格	0.0%			
A格	0.0%			
BBB格	0.0%			
BB格以下	0.0%			

#### ●基準価額および純資産総額

	9月30日	前日比	
	9H30H	削月几	
基準価額(円)	9,985	3	
純資産総額(百万円)	362	25	

#### ●騰落率

<u> </u>								
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来			
ファンド	0.03%	0.07%	0.15%	0.17%	-0.15%			

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。設定来は2011年3月3日を 基準とします。上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

#### ●信託報酬率(年率)

2025年9月30日現在	0.000%

<sup>※</sup>上記信託報酬率は税抜きです。

#### ●債券種別構成

国債	65.2%
政府保証債	0.0%
地方債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	0.0%
円建外債	0.0%
その他	0.0%

#### ●残存年月別構成

1年未満	65.2%
1-3年	0.0%
3-7年	0.0%
7-10年	0.0%
10年以上	0.0%

※構成比を示す比率は全て当ファンドの純資産総額対比です。

特別勘定の名称:海外リートインデックスファンド

# 海外先進国 REIT インデックスファンド

データは2025年9月30日現在

# マンスリーレポート

# 海外先進国REITインデックスファンド(適格機関投資家向け)

ファンドの概要

2006年10月6日 設 定 日

環 日 無期限

算 原則6月15日 決 日

収益分配 決算日毎

#### ファンドの特色

S&P先進国REIT指数(除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベー ス)に連動した投資成果を目標として運用を行ないます。

#### 用 実 績 運

#### <基準価額の推移>



- ※基準価額は当ファンドに、分配金実績があった場合に、 当該 分配金 (税引前) を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
- ※ベンチマークはS&P先進国REIT指数(除く日本、 税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)です。 ※基準価額およびベンチマークは設定日の前営業日を10,000と
- して指数化しています。

### < 資産構成比率>

不動産投信	98. 5%
現金その他	1.5%

#### <国別上位5ヵ国>

	国 名	比 率
1	アメリカ	76.6%
2	オーストラリア	7. 7%
3	イギリス	4. 0%
4	シンガポール	3.3%
5	フランス	2. 2%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

- ※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。 ※当レポートのグラフ、数値などは過去のものであり、将来の運用成果など を約束するものではありません
- ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、 それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

基準価額 : 23.088円 6.76億円 純資産総額

#### <基準価額の騰落率>

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	1. 83%	6. 48%	5. 28%	1. 45%	37. 40%	134. 23%
ベンチマーク	1.81%	6. 52%	5. 28%	1. 39%	37. 92%	139.84%

※基準価額は当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金 (税引前) を再投資した ものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

#### <分配金実績(税引前)>

21 · 6 · 15	22-6-15	23-6-15	24-6-17	25 - 6 - 16
10円	10円	10円	10円	0円

#### <不動産投信 組入上位10銘柄> (銘柄数 290銘柄)

	銘 柄 名	国 名	比率
1	WELLTOWER INC	アメリカ	7. 6%
2	PROLOGIS INC	アメリカ	6.8%
3	EQUINIX INC	アメリカ	4. 9%
4	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	3. 9%
5	REALTY INCOME CORP	アメリカ	3. 6%
6	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	3. 5%
7	PUBLIC STORAGE	アメリカ	2. 9%
8	GOODMAN GROUP	オーストラリア	2. 8%
9	VICI PROPERTIES INC	アメリカ	2. 2%
10	VENTAS INC	アメリカ	2. 0%
VV III. #	アナフザ コーン・ドの幼姿を必然レスナ		

#### ※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

#### ○市場環境

9月のS&P先進国REIT指数(除く日本)は、前月末と比べて上昇しました。

米国REIT指数は、前月末と比べて上昇しました。堅調な内容の経済指標を背景に米国連邦準備制度理事会(FRB)による利下げ観測が後退 した局面ではREIT価格が軟調に推移したものの、FRBが雇用の下振れリスクの増大を踏まえ追加利下げに踏み切ったことや、米国の個人消費 支出(PCE)物価指数が市場予想通りの結果となりFRBによる更なる利下げに期待が高まったこと、米国長期金利が低下したことなどを受けて、 同指数は上昇しました

欧州REIT指数は、初旬に急落したものの、その後に値を戻しました。政治の混乱が続くフランスや国債の発行増加が懸念されたドイツにおい て長期金利が上昇したこと、欧州中央銀行(ECB)による利下げ期待が後退したことなどがREIT価格の重しとなったものの、FRBが雇用の 下振れリスクの増大を踏まえ追加利下げに踏み切り、投資家心理が改善したことや、市場予想を上回ったユーロ圏及びドイツの総合購買担当者景気 指数(PMI)速報値などを支援材料に、欧州株式市場が概して上昇したことなどから、同指数は上昇しました。

オーストラリアREIT指数は、前月末と比べて下落しました。オーストラリアの消費者物価指数(CPI)や2025年4-6月期GDP成長率が 市場予想を上回りオーストラリアの長期金利が上昇したこと、オーストラリア準備銀行(RBA)による利下げ期待が後退したことなどがREIT 価格の重しとなり、同指数は下落しました。

■当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に不動産など値動きのある 資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。



アモーヴァ・アセットマネジメント

SMBC日興証券

トをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

三井住友海上プライマリー生命

募集代理店 SMBC日興証券株式会社	│ 引受保険会社 │ │ 三井住友海上プライマリー生命保険株式会社
	〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル 資料請求・お問合わせ フリーダイヤル 0120-125-104 https://www.ms-primary.com